

戦略Ⅰ 生涯にわたるこころと体の健康づくり

戦略Ⅰ-ⅰ 栄養・食生活 【目標/重点課題：バランス良く食べて、適正体重を維持する】

| 施策の方向性   | 事業No | 事業名                          | 実施内容  | 平成29年度実績   | 平成30年度実績   | 担当課               |
|--|------|------------------------------|---|--|--|-------------------|
| 生活習慣づくりの基本をなす「早寝早起き朝ごはん」について、母子保健・学校保健・教育・医療・産業など関係機関が連携した取り組み | ①    | 乳幼児健康診査等における栄養指導・食生活チェック     | 乳幼児期からの望ましい食習慣の定着を図るため、乳幼児健診、離乳食講習会において栄養指導を行う。3歳児健診では「早寝・早起き・朝ごはん」を啓発する食生活チェックを行う。   | 集団指導：333回 12,550人 個別指導：1,372人  | 集団指導：332回 12,314人 個別指導：1,437人  | 子ども育成課            |
|  | ②    | 妊婦教室における栄養指導                 | 妊娠中の食生活に関する講義、調理実習、試食を行うとともに、家庭における食生活や生活習慣の見直しを啓発する。   | 45回 466人   | 44回 391人   | 子ども育成課            |
|  | ③    | 育児サークル等地域のグループや赤ちゃん広場等での栄養指導 | 各区保健センターが中心となり、乳幼児期からの望ましい食習慣の定着を図るため、育児サークル等、乳幼児が集まる場所で、子どもや親に対して栄養指導を行う。また、保護者の生活習慣病予防のための啓発を行う。  | 集団指導 58回 1,400人  | 集団指導 52回 1,176人  | 子ども育成課<br>健康医療推進課 |
|  | ④    | 7つのやくそく                      | 「早寝早起きの習慣をつけよう」「朝ごはんを毎日食べよう」「家族との対話を大切にしよう」「学校に持って行くものを前日に確かめよう」「宿題など自分から進んで勉強しよう」「携帯電話やスマートフォン・テレビやゲームの時間を決めよう」「本を読む時間をつくろう」の「家での7つのやくそく」について、家庭及び地域を巻き込んだ取り組みを推進する。 | 「7つのやくそく」のチラシを児童生徒に配布し、睡眠に関する啓発をするとともに、毎月7日を「家での7つのやくそくデー」と定め、学校教育部のHPなどで啓発を行い実施の促進を図った。 | 「7つのやくそく」のチラシを児童生徒に配布し、睡眠に関する啓発をするとともに、毎月7日を「家での7つのやくそくデー」と定め、基本的な生活習慣の確立を図った。 | 学校指導課             |
| 保育所（園）・幼稚園・学校等と連携  | ⑤    | 保育所（園）・幼稚園・学校等と連携した食育の推進     | 授業や学校保健委員会等において、子どもや保護者を対象に、食生活に関する健康教育等を行う。  | 24回 1,172人   | 19回 643人   | 子ども育成課<br>健康医療推進課 |
|  | ⑥    | 学校保健連絡会議など学校への情報提供・情報交換      | 養護教諭との連絡会等において、食育に関する情報提供や情報交換を行う。  | 38回  | 49回  |                   |
| 望ましい食習慣の実践のため、家族が食卓を囲んで共に食事を取りながらコミュニケーションを図ること（共食）の推進         | ⑦    | 食育体験事業                       | 保健センターにおいて、子どもやその保護者の世代を対象に食育を推進するために、親子クッキング等の参加型体験教室を開催する。  | 68回 1,926人（うち親子クッキング 27回 753人）   | 71回 1,797人（うち親子クッキング 27回 702人）   | 健康医療推進課           |
|  | ⑧    | 食育推進イベント                     | 食育を推進する関係団体、庁内関係課が連携し、食育を啓発するイベント「さかい食育わんだーらんど」を開催する。   | 1回 4,658人  | 1回 4,910人  | 健康医療推進課           |
| 適正体重に関する基本的な知識の周知  | ⑨    | 栄養教室・食生活相談                   | 保健センターにおいて、成人を対象に生活習慣病予防や健康づくりのための食生活に関する健康教育や相談事業を実施する。  | 集団指導 208回 4,058人<br>個別指導 255回 1,483人   | 集団指導 170回 3,321人<br>個別指導 274回 2,007人   | 健康医療推進課           |
|  | ⑩    | 健康づくり教室                      | 食生活改善推進員の養成講座であり、食生活を中心に健康づくりを6～7回シリーズで学ぶ教室を開催する。修了者には食生活改善推進員活動への参加を働きかける。   | 延 49回 781人<br>修了者 117人   | 延 48回 1,042人<br>修了者 164人   | 健康医療推進課           |
|  | ⑪    | 保健指導                         | 各学校園は、毎年、定期健康診断を実施している。その結果、全体指導、個別指導を実施する。   | 全学校園で実施  | 全学校園で実施  | 保健給食課             |
| 低栄養に関する知識の周知   | ⑫    | 低栄養予防講習会                     | 高齢者を対象に低栄養予防のために、地域での出前講座や保健センターにおいて講話や調理講習会を行う。  | 集団指導 93回 1,972人  | 集団指導 98回 1,881人  | 地域包括ケア推進課         |
| 高齢期における正しい食のあり方について、地域・医療・産業・介護など関係機関が連携した取り組み                 | ⑬    | 栄養改善ボランティア活動支援               | 地域で高齢者に会食や配食等を行っているボランティアグループを対象に、高齢者の食生活についての話や調理講習会等の研修を行う。   | 2回 48人   | 3回 49人   | 地域包括ケア推進課         |
| イベント等における食の啓発  | ⑭    | 食に関する啓発                      | 区役所まつりのイベントや商業施設・体育館などの施設でのポスター掲示、ちらし配架等で幅広い世代の市民を対象に食生活に関する啓発を行う。  | 10回 696人 近隣商業施設等7か所  | 10回 702人 近隣商業施設等7か所  | 健康医療推進課           |

| 施策の方向性   | 事業No | 事業名                                  | 実施内容  | 平成29年度実績   | 平成30年度実績   | 担当課                 |
|--|------|--------------------------------------|---|--|--|---------------------|
| 基本的な生活習慣づくりの一環として、楽しく体を動かす機会づくりの取り組み                               | ①    | 体育館におけるスポーツ教室の推進                     | 体育館において多世代が楽しみあえる各種スポーツ教室を開催する。   | 教室参加者数175,423人<br>(185教室を実施)   | 教室参加者数173,016人<br>(183教室を実施)   | スポーツ施設課             |
|  | ②    | スポーツ実施率向上啓発                          | 初心者向けのセミナーや親子を対象としたスポーツイベントを開催する。   | 9回 467人  | 9回 211人  | スポーツ推進課             |
|  | ③    | 初心者等を対象とした運動教室                       | シリーズでの運動実技体験を通じて、生活習慣病予防対策をする。  | 40回 1,305人   | 48回 743名   | 健康医療推進課<br>保健センター   |
| 健やかな身体づくりのために運動の必要性の周知   | ④    | 体力づくり                                | 児童生徒の運動意欲を高め、運動習慣を確立し、体力、運動能力を全国水準まで向上させるため、調査研究、学校園での指導促進、全小学校参加で競い合いながら体力向上を促進する取組等を実施。 | 以下の事業を実施。①体力向上研究校における、関係団体との連携による調査研究。②堺体力向上検討会議の開催。③関西大学と連携した体力向上サポーターの活用。④全小学校で大縄跳びを奨励し、連続跳躍回数を競う「堺スポーツチャレンジランキング」の実施。⑤JFAアカデミー堺と連携したサッカー指導教室の開催。⑥子どもの体力向上指導者養成研修に教員を派遣し、伝達講習会を開催。 | 以下の事業を実施。①体力向上研究校における、関係団体との連携による調査研究。②堺体力向上検討会議の開催。③関西大学と連携した体力向上サポーターの活用。④全小学校で大縄跳びを奨励し、連続跳躍回数を競う「堺スポーツチャレンジランキング」の実施。⑤JFAアカデミー堺と連携したサッカー指導教室の開催。⑥子どもの体力向上指導者養成研修に教員を派遣し、伝達講習会を開催。 | 生徒指導課               |
|  | ⑤    | 高齢者体力測定                              | 地域が実施した高齢者のための体力測定イベントを通して、地域の健康づくり活動を支援する。   | 4回 118人  | 3回 50人   | 健康医療推進課<br>保健センター   |
|  | ⑥    | 女性のための健康講座                           | 子育て世代の母など女性に対し、健（検）診・運動の重要性を伝える講座を実施  | 18回 268人   | 28回 586人   | 健康医療推進課<br>保健センター   |
|  | ⑦    | 子育てフェスタ                              | 子育て世代の父に対し、身体活動量を増やし、運動習慣の確立を伝える講座を実施   | 1回 30人   | 1回 50人   | 健康医療推進課<br>保健センター   |
|  | ⑧    | イベントにおける運動の啓発                        | 健康のつどいなど、イベントにおける運動の啓発として、配布案内や体験コーナーを実施する。   | 活動紹介：21グループ、参加者3,631人、活動紹介だけでなく健康フェスタなどの機会に8保健センターで実施  | 活動紹介：31グループ、参加者1,610人、活動紹介だけでなく健康フェスタなどの機会に8保健センターで実施  | 健康医療推進課<br>保健センター   |
|  | ⑨    | 骨粗しょう症健診時の健康相談                       | 骨粗しょう症健診時や要フォロー者等を対象に、運動継続支援のための教室を開催する。  | 骨粗しょう症健診時健康相談：50回 1,040人   | 骨粗しょう症健診時健康相談：47回 1,020人   | 健康医療推進課<br>保健センター   |
|  | ⑩    | 情報コーナーにおける運動の啓発                      | 情報コーナーにて紹介誌の配架を実施   | 8保健センターで実施。体育館・区役所においても期間を決めて実施。   | 8保健センターで実施。体育館・区役所においても期間を決めて実施。   | 健康医療推進課<br>保健センター   |
| 身体活動量を増やし、適切な運動習慣を確立することにより体力を向上させるよう職域保健・スポーツ産業・医療など関係機関が連携した取り組み | ⑪    | 職域・多職種連携を活用した運動習慣確立の推進               | 商店街・工場・郵便局等多職種連携に関わる際、運動習慣の啓発を実施。   | 商業施設3回、企業1回。計4回 534人参加   | 企業1回。470人参加  | 健康医療推進課<br>保健センター   |
|  | ⑫    | 特定保健指導での美原体育館利用券発行                   | 積極的支援対象者に美原体育館の利用券を発行。体育館を利用してもらうことで運動習慣のきっかけとする。   | 利用券発行0件  | 事業終了   | 健康医療推進課<br>美原保健センター |
|  | ⑬    | 生活習慣病予防対策                            | 特定保健指導対象者や参加希望者に対し、生活習慣病予防のための栄養、運動指導を実践する。   | 29回 331人   | 26回 222人   | 健康医療推進課<br>保健センター   |
| 自主活動グループ支援   | ⑭    | 自主活動グループ支援                           | 自主グループの育成を目標に、健康教育と活動支援を行う。   | 新規3グループ  | 新規3グループ  | 健康医療推進課<br>保健センター   |
|  | ⑮    | 自主活動グループ支援                           | 自主グループ活動の継続支援を行う。   | 43回 1,310人   | 39回 507人   | 健康医療推進課<br>保健センター   |
|  | ⑯    | 運動リーダー養成講座                           | 保健センターとともに、太極拳やロコモ予防について、地域で活動を展開するリーダーを育成・支援する。  | 64回 1,592人   | 62回 1,657人   | 健康医療推進課<br>保健センター   |
| ウォーキング大会の開催  | ⑰    | ウォーキング大会などの運動イベントの開催                 | 健康づくり推進委員と協同し、市民が運動に取り組むきっかけとなるイベントとして、チューブ体操大会、ウォーキング大会を開催する。                            | ウォーキング大会3回 チューブ体操大会1回193人  | ウォーキング大会2回 チューブ体操大会1回203人  | 健康医療推進課<br>保健センター   |
| 高齢者がいつまでも元気でいきいきと過ごすために、無理なく身体を動かせる機会を提供するなど健康の保持・増進の取り組み          | ⑱    | げんきあつぷ教室                             | 老人福祉センターや地域において運動指導士が筋力アップやストレッチ体操等介護予防に係る運動指導を行う。  | 開催回数723回 参加延人数12,594人  | 開催回数745回 参加延人数14,201人  | 地域包括ケア推進課           |
|  | ⑲    | ひらめき脳トレ教室                            | 文化会館等で運動を含めた認知症予防のための取組を学ぶ。   | 開催回数212回 参加延人数3,950人   | 開催回数203回 参加延人数3,228人   | 地域包括ケア推進課           |
|  | ⑳    | 堺市と関西大学との地域連携事業（コッカラ体操の開発とリーダー養成研修）  | 関西大学との連携事業で認知症予防を主目的とした堺コッカラ体操の開発を行う。また普及啓発の一環でリーダー養成研修を行う。                               | 開催回数6回 参加延人数159人   | 開催回数8回 参加延人数194人   | 地域包括ケア推進課           |
|  | ㉑    | 地域（校区福祉委員会・老人会・サロン・学校）での健康教育・健康相談の実施 | 地域住民に対し、健康教育・相談の機会を通じ、体をしっかりと動かすことや運動習慣の必要性を啓発する。   | 123回 3,749人  | 155回 4,482人  | 健康医療推進課<br>保健センター   |
|  | ㉒    | ロコモ予防                                | ロコモティブシンドローム予防のため、自宅できる運動を紹介し、自身で継続実施を目指す講座の実施する。   | 54回 1,369人   | 27回 938人   | 健康医療推進課<br>保健センター   |
|  | ㉓    | コッカラ体操（認知症予防）の普及                     | 地域においてコッカラ体操を知ってもらう講座を開催する。   | 啓発講座1,179回 参加延べ人数22,923人   | 啓発講座1,363回 参加延べ人数27,054人   | 地域包括ケア推進課           |
| 介護予防としての運動の必要性を周知し、無理なく安全に、継続して取り組めるよう地域・医療・介護・産業など関係機関が連携した取り組み   | ㉔    | 地域介護予防活動支援事業（組織育成）                   | 介護予防に取り組む自主グループ活動の継続支援を行う。  | 39回 786人   | 57回 1,306人   | 健康医療推進課<br>保健センター   |
|  | ㉕    | 地域における自主的な運動活動を支援するための講習会            | 地域の様々な関係機関と連携し介護予防のための運動講座を実施   | 343回 11,645人   | 539回 15,093人   | 健康医療推進課<br>保健センター   |

| 施策の方向性  | 事業No            | 事業名   | 実施内容   | 平成29年度実績   | 平成30年度実績   | 担当課               |
|---|-----------------|---|--|--|--|-------------------|
| 健康によい生活習慣の基本となる「早寝早起き」について、母子保健・学校保健・教育・医療・産業などの関係機関が連携した取り組み | ①               | 1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査  | 生活リズムについての問診項目を入れ、問診時に保健師が全員に面接し、必要に応じて保健指導を行う。  | 1歳6か月児健康診査受診者数 : 6,697人<br>3歳児健康診査受診者数 : 6,557人  | 1歳6か月児健康診査受診者数 : 6,420人<br>3歳児健康診査受診者数 : 6,727人  | 子ども育成課            |
|   | ②               | 乳幼児健診での早寝早起きの必要性の啓発   | 保健センターで実施する乳幼児健診時の集団指導において、健康によい生活習慣である「早寝・早起き」の必要性について健康教育の実施、及びポスター掲示やチラシの配布を行う。   | 乳幼児健診場面を活用し、8保健センターで実施。また、子育てサロン等の所外においても随時実施。   | 乳幼児健診場面を活用し、8保健センターで実施。また、子育てサロン等の所外においても随時実施。   | 健康医療推進課           |
|   | ③               | 7つのやくそく   | 「早寝早起きの習慣をつけよう」「朝ごはんを毎日食べよう」「家族との対話を大切にしよう」「学校に持って行くものを前日に確かめよう」「宿題など自分から進んで勉強しよう」「携帯電話やスマートフォン・テレビやゲームの時間を決めよう」「本を読む時間をつくろう」の「家での7つのやくそく」について、家庭及び地域を巻き込んだ取り組みを推進する。    | 「7つのやくそく」のチラシを児童生徒に配布し、睡眠に関する啓発をするとともに、毎月7日を「家での7つのやくそくデー」と定め、学校教育部のHPなどで啓発を行い実施の促進を図った。   | 「7つのやくそく」のチラシを児童生徒に配布し、睡眠に関する啓発をするとともに、毎月7日を「家での7つのやくそくデー」と定め、基本的な生活習慣の確立を図った。   | 学校指導課             |
|   | ④               | 学校との連携  | 生活習慣の基本となる「早寝早起き、生活習慣全般」について、小中学校の生徒に対し、情報を提供し、教育できるよう支援する。  | 2回 102人実施  | 2回 30人実施   | 健康医療推進課           |
| 自尊感情を高める取り組み  | ⑤               | 学校や保育園・幼稚園・地域等と連携した健康教育の開催  | 乳幼児・幼児・児童・学生のほかに、保護者、教職員、地域関係者等を対象に、赤ちゃんふれあい体験や命の大切さ、性感染症の予防等についての健康教育を開催する。   | 104機関と述べ136回開催し、14,157人参加  | 129機関と述べ158回開催し、16,611人参加  | 子ども育成課            |
|   | ⑥               | 学校保健総合支援事業  | 学校保健との連携（いのちの授業）を通して自尊感情を高める。助産師と保健師、学校から学年担任、養護教諭が協力し取り組む   | 小中支援学校51校で実施   | 小中支援学校51校で実施   | 保健給食課<br>保健センター   |
|   | ⑦               | 自尊感情を高める取り組み  | 豊かな心を育み、社会の一員としての責任を自覚し、人権感覚をもって行動できる子どもの育成や、基本的な生活習慣を確立し、子どもたちが運動に親しむ機会の充実や運動する習慣、意欲、能力を高める取り組みを教育現場を中心としたあらゆる場面で展開する。  | 重点項目である、①豊かな人権感覚の涵養、②道徳教育の充実、③体力向上などに資する各種事業を実施。   | 重点項目である、①豊かな人権感覚の涵養、②道徳教育の充実、③体力向上などに資する各種事業を実施。   | 生徒指導課             |
| ⑧   | 精神障害者社会復帰グループ事業 | 回復途上にある精神障害者が仲間と触れ合うことによって、「人間関係」「自信」「生きがい」などを取り戻し、日常生活の自立や社会参加を促すためのステップとする。 | 264回 延1,171人   | 264回 延1,050人   | 精神保健課  |                   |
| 学校等との連携   | ⑨               | 学校保健委員会や学校連絡会（養護教諭等との連絡会）との連携   | 養護教諭等との連絡会ではテーマ別連携を図る。   | 性教育・性感染症をテーマとした学校連絡会（全体会10回、ブロック会4回）開催   | 学校連絡会（全体会8回、ブロック会0回）開催   | 子ども育成課            |
| 睡眠の質の確保について、職域保健・医療・産業などの関係機関が連携した取り組み                        | ⑩               | 睡眠の指針リーフレット配架   | 保健センター等の情報コーナーでの配布等により情報提供を行う。   | 通年実施   | 通年実施   | 子ども育成課            |
| 高齢者の生きがいづくり   | ⑪               | 認知症予防教室：ひらめき脳トレ教室   | 65歳以上で介護認定を受けていない方を対象認知症予防を目的に実施する   | 開催回数212回 参加延人数3,950人   | 開催回数203回 参加延人数3,228人   | 地域包括ケア推進課         |
| メンタルヘルスに関する知識の啓発  | ⑫               | こころの健康づくり講演会  | ストレスやうつなどメンタルヘルス領域の専門家による講演会、医師会の協力による無料こころの健康相談コーナー   | 【講演会】参加者：187人<br>【相談会】相談：5組  | 【講演会】参加者：316名<br>【相談会】相談：5組  | 精神保健課             |
|   | ⑬               | 出前講座（こころの健康講座～ストレスと上手につきあうコツ～）  | 生涯まちづくり出前講座の1つとして、市民へメンタルヘルスへの理解を深めるための健康教育を実施。  | 実施回数 12回 参加延べ数 275人  | 実施回数 7回 参加延べ数 155人   | こころの健康センター        |
| イベントなどを活用したストレスについての啓発  | ⑭               | ストレスチェック  | ストレスチェックとパンフレットなどの配布   | 7回、その他、地区活動での実施や情報コーナーでの配架を行った。  | 7回 267名  | 健康医療推進課<br>保健センター |
| うつ病など疾病に対する知識の啓発  | ⑮               | かかりつけ医うつ病対応力向上研修  | かかりつけ医として必要かつ適切なうつ病診療の知識・技術及び精神科等の専門の医師との連携方法を習得する。  | 参加者49人   | 参加者83人   | 精神保健課             |
|   | ⑯               | 出前講座（簡単うつ病講座）   | 生涯学習まちづくり出前講座の一つとして、市民へのうつ病への理解を深めるための健康教育を実施。   | 実施回数 4回 参加延べ数 95人  | 実施回数 3回 参加延べ数 59人  | こころの健康センター        |
|   | ⑰               | 母子健康手帳の交付<br>妊娠届出時の面接   | 妊娠届出をされた方全員に交付する「母子健康手帳別冊」に、マタニティブルーズと産後うつ病についての情報を掲載する。<br>保健師が妊娠届出時に全数面接を行う中で、精神面で支援の必要な方を把握し、適切な支援につなげる。  | 8保健センターで実施   | 8保健センターで実施   | 子ども育成課            |
|   | ⑱               | 保健師の新生児訪問   | 訪問時、母に自己記入式質問票を行い、精神面の支援の必要性を把握し、必要な方を支援につなげる。   | EPDS実施数：1,623人   | EPDS実施数：1,225人   | 子ども育成課            |
| ⑲   | 健康教育の実施         | 地域に要望に基づき、こころの健康、うつをテーマに健康教育を開催する。  | 1回 30人   | 0回   | 健康医療推進課<br>保健センター  |                   |
| 自殺問題を市民全体の問題として認識する機会の提供                                      | ⑳               | 自殺予防週間・自殺対策強化月間   | 各区役所での啓発パネルの展示、懸垂幕の掲揚、街頭啓発キャンペーン、期間内の相談会や研修会等の開催   | 【自殺予防週間（9月10日）】中百舌鳥駅にて街頭啓発キャンペーン<br>自殺予防啓発パネル展示（9月1日～14日 各区役所）<br>【自殺対策強化月間（3月1日）】中百舌鳥駅にて街頭啓発キャンペーン<br>自殺予防啓発パネル展示（3月1日～7日 各区役所） | 【自殺予防週間（9月10日）】中百舌鳥駅にて街頭啓発キャンペーン<br>自殺予防啓発パネル展示（市役所本館1階）<br>【自殺対策強化月間（3月1日）】中百舌鳥駅にて街頭啓発キャンペーン  | 精神保健課             |
| 地域におけるこころの健康相談  | ㉑               | こころの健康づくり推進事業   | 精神科医師による相談、精神保健福祉相談員による個別相談等、こころの電話相談  | 【医師による相談】各保健センターで週1回程度 314人<br>【個別相談】随時 34,203人  | 【医師による相談】各保健センターで週1回程度 354人<br>【個別相談】随時 30,613人  | 精神保健課             |
|   | ㉒               | 1. こころの電話相談<br>2. 専門相談  | 1. 月～金9:00～12:30、13:30～17:00に市民の心の健康に関する電話相談を、電話相談員およびこころの健康センター職員が受ける。<br>2. こころの健康センターの精神科医、心理士、精神保健福祉士、保健師が専門相談（ひきこもり、薬物依存、自死遺族）を中心とした相談を実施。（個別面接、当事者グループワーク、家族向け教室等） | 1. 相談件数 2,488件<br>2. ひきこもり相談件数（延）5,212件、薬物相談件数（延）566件、自死遺族相談件数（延）122件 性暴力被害（延）12件 グループワーク、家族教室等 209回実施 利用者延べ数 1,148人             | 1. 相談件数 2,626件<br>2. ひきこもり相談件数（延）5,229件、薬物相談件数（延）585件、ギャンブル等依存症相談件数（延）388件、自死遺族相談件数（延）93件 性暴力被害（延）92件 グループワーク、家族教室等 221回実施 利用者延べ数 1,156人 | こころの健康センター        |
|   | ㉓               | うつ・認知症・閉じこもり予防訪問  | うつ・認知症・閉じこもりについてリスクのある65歳以上の高齢者宅に訪問し、不安の傾聴・講座参加推奨・情報提供を行い、改善を図る。   | 実598人 延753人  | 実361人 延383人  | 地域包括ケア推進課         |
|   | ㉔               | 精神相談（保健師）   | 保健師等が、精神障害・アルコール依存などで悩む方や家族の相談に対応する。   | 家庭訪問542件、所内面接368件、電話相談1138件  | 家庭訪問598件、所内面接361件、電話相談1153件  | 健康医療推進課<br>保健センター |
| 労働条件その他労働契約上で生じた労働問題に対する相談                                    | ㉕               | 労働相談の実施   | 労働者及び使用者等を対象に、労働条件その他労働契約上で生じた労働問題に対し、専門の労働相談員が助言を行い、必要に応じて専門機関への紹介を実施する。  | 相談件数 712件  | 相談件数 639件  | 雇用推進課             |

戦略Ⅰ-Ⅳ たばこ 【目標/重点課題：未成年はたばこを吸わない、大人は、まず禁煙、受動喫煙させない】

| 施策の方向性   | 事業No | 事業名                  | 実施内容   | 平成29年度実績   | 平成30年度実績   | 担当課               |
|--|------|----------------------|--|--|--|-------------------|
| イベントなどを活用したたばこの害についての周知・啓発                         | ①    | 世界禁煙デーに合わせた禁煙啓発      | 保健センターや体育館などで、ポスター掲示などにより啓発を行う。  | 8保健センターと健康医療推進課で実施   | 8保健センターと健康医療推進課で実施   | 健康医療推進課<br>保健センター |
|  | ②    | 禁煙啓発イベントの開催          | 健康フェスタなど、各種イベント時に、禁煙に関する啓発を実施する。   | 8保健センターで実施   | 8保健センターで実施   | 健康医療推進課<br>保健センター |
| 進学・進級時など、成長にあわせて関心をもちやすい時期の重点取り組み                  | ③    | 児童・生徒・学生への防煙啓発       | 児童・生徒への健康教育の実施や啓発媒体の配布などにより、喫煙のリスクなどを啓発する。   | 学校保健連絡会にて情報提供41校、媒体や資料の貸し出し（小学校6校、中学校2校、高校1校）                  | 学校保健連絡会等で情報提供74校、媒体や資料の貸し出し（小学校2校、高校1校）                        | 健康医療推進課<br>保健センター |
| 学校等との連携  | ④    | 安全教育・安全管理            | 学校及び学校関係者と連携を図る。   | 学校内の全面禁煙の実施をはじめ、学校を通じてPTA等地域での禁煙を啓発。また、受動喫煙ポスターを学校園で掲示し、煙害を周知。 | 学校内の全面禁煙の実施をはじめ、学校を通じてPTA等地域での禁煙を啓発。また、受動喫煙ポスターを学校園で掲示し、煙害を周知。 | 保健給食課<br>保健センター   |
| 妊産婦などの次世代への影響に重点を置いた取り組み                           | ⑤    | オリジナル情報誌「いきいき堺っ子」の配布 | 本市のオリジナルの情報誌「いきいき堺っ子」に、禁煙や受動喫煙防止についての情報を掲載し、保健センターで妊産婦出者全員に配布する。                     | 妊産婦出数：6,702人   | 妊産婦出数：6,407人   | 子ども育成課            |
|  | ⑥    | 乳幼児健康診査              | 乳幼児健康診査の質問票にて、父母の喫煙の状況を尋ね、必要に応じて保健指導を行う。   | 4か月児健康診査受診者：6,361人   | 4か月児健康診査受診者：6,217人   | 子ども育成課            |
|  | ⑦    | 妊産婦出時の面接             | 保健師が妊産婦出時に全数面接を行う中で、妊婦や家族の喫煙の状況を把握し、必要時保健指導を行う。                                      | 妊産婦出数：6,702人   | 妊産婦出数：6,407人   | 子ども育成課            |
| 喫煙者に対する禁煙相談  | ⑧    | 禁煙相談                 | イベント等開催時に、禁煙相談を実施する。   | 76人  | 66人  | 健康医療推進課           |
|  | ⑨    | 特定保健指導時に禁煙相談         | 特定保健指導における禁煙相談・喫煙に関する知識の提供   | 特定保健指導対象者のうち、必要な対象者に実施。  | 特定保健指導対象者のうち、必要な対象者に実施。  | 健康医療推進課<br>保健センター |
|  | ⑩    | 禁煙に関する各種の情報発信        | 禁煙、受動喫煙防止、禁煙チャレンジなど、たばこに関する啓発を掲示、配布等により、啓発を行う。                                       | 8保健センターで実施   | 8保健センターで実施   | 健康医療推進課           |
| 喫煙と受動喫煙が及ぼす健康影響についての知識の提供を、地域・医療・介護など関係機関が連携した取り組み | ⑪    | 大阪府「全面禁煙宣言施設」        | 大阪府の取組ではあるが、官公庁などの公共施設をはじめ、民間施設も含めた禁煙化を一層進めていくため、「全面禁煙」に取り組んでいる施設などを募集し、府民に情報提供するもの。 | 388施設（平成30年4月27日現在）  | 399施設（平成31年3月11日現在）  | 健康医療推進課           |
|  | ⑫    | 禁煙ポスターの掲示            | 企業などに対して、禁煙・受動喫煙のポスター掲示依頼などを行い啓発を行う。   | 市が所管する施設及び企業 115カ所   | 市が所管する施設及び企業 18カ所  | 健康医療推進課<br>保健センター |
|  | ⑬    | 禁煙教育の実施              | 健診の場面や地域において、禁煙に関する健康教育を実施する。  | 21回  | 15回  | 健康医療推進課           |
|  | ⑭    | 受動喫煙防止に関する啓発         | 受動喫煙に伴う健康被害などの相談があった場合に、当該施設や管理者等へ訪問し、受動喫煙の害と受動喫煙防止についての情報提供を行い、受動喫煙防止対策への協力を依頼する。   | 14件  | 9件   | 健康医療推進課           |

戦略Ⅰ-Ⅴ アルコール 【目標/重点課題：未成年は飲まない、大人は適正飲酒、未成年に飲ませない】

| 施策の方向性  | 事業No | 事業名                                    | 実施内容  | 平成29年度実績                       | 平成30年度実績                       | 担当課                 |
|---|------|--|---|--------------------------------|--------------------------------|---------------------|
| 飲酒が及ぼす健康影響について、母子保健・学校保健・教育・職域保健・医療・産業など関係機関が連携した取り組み | ①    | 特定保健指導の実施                              | 特定保健指導時に適正飲酒について指導  | 対象者に実施                         | 対象者に実施                         | 健康医療推進課<br>保健センター   |
| 健康相談の実施   | ②    | 精神保健福祉士による相談                           | アルコール問題に対しての相談を実施する。  | 相談件数1,838件                     | 相談件数 1,558件                    | 精神保健課               |
| 飲酒が及ぼす健康影響についての知識の普及                                  | ③    | 妊産婦出時における妊婦への健康指導                      | 保健師が妊産婦出時に全数面接を行う中で、飲酒の状況について把握し、保健指導を行う。特に、飲酒者には健康指導を実施する。         | 妊産婦出数：6,702人（保健センターで実施）        | 妊産婦出数：6,407人（保健センターで実施）        | 子ども育成課              |
| ストレスや睡眠との関係を考慮した、「こころの健康」対策と合わせた知識の普及                 | ④    | イベントにおける啓発                             | 区民祭りなどのイベント時に、子どもに重点を置き、断酒会などと協力しアルコールパッチテストを行いアルコールの啓発を実施。         | 各区で1-2回実施。                     | 各区で1-2回実施。                     | 健康医療推進課             |
| 自助グループ支援  | ⑤    | 断酒会活動                                  | 地域で生活するアルコール依存症患者と家族が活動する自助グループ。酒害体験を語ることで断酒を促し、当事者を支える家族の為の家族会も開催。 | 保健センターで毎週開催。                   | 保健センターにて毎週開催。                  | 精神保健課               |
| アルコール関連問題の啓発  | ⑥    | 出前講座（アルコール関連問題とメンタルヘルス～不適切な飲酒がもたらすもの～） | 生涯学習まちづくり出前講座の一つとして、市民への適正飲酒等について理解を深めるための健康教育を実施。                  | 実施回数 3回 参加延べ数 109人             | 実施回数 3回 参加延べ数 97人              | こころの健康センター          |
| アルコール関連問題の啓発  | ⑦    | アルコール関連問題啓発週間                          | アルコール健康障害対策基本法に基づくアルコール関連問題啓発週間（毎年11月10日から16日）に啓発を行うもの。             | アルコール等依存症患者支援講演会を実施 参加延べ人数106人 | アルコール等依存症患者支援講演会を実施 参加延べ人数 47人 | 精神保健課<br>こころの健康センター |

戦略Ⅰ－vi 歯と口の健康 【目標/重点課題：健康づくり、みんなで取り組む健口づくり】

| 施策の方向性  | 事業No | 事業名   | 実施内容  | 平成29年度実績   | 平成30年度実績   | 担当課               |
|---|------|---|---|--|--|-------------------|
| むし歯や歯肉炎予防のための規則正しい生活習慣について、母子保健・学校保健・教育・産業など機関が連携した取り組み   | ①    | 関係機関と連携し歯科口腔保健が推進されるよう支援する。                         | 教育委員会等関係機関と連携し歯科保健情報の提供や、問題点の共有をはかる。  | 食通信への歯科保健情報掲載  | 食通信への歯科保健情報掲載  | 健康医療推進課           |
|   | ②    | 保健指導  | 各学校園は、保健指導を実施する。  | 各学校園での歯科検診の実施  | 各学校園での歯科検診の実施  | 保健給食課             |
|   | ③    | 好ましい生活習慣習得のための健康教育                                  | 口腔清掃や甘味食品・飲料の摂り方、喫煙が歯と口の健康に及ぼす悪影響などについて情報提供や健康教育を行い、好ましい生活習慣を身につけることができるよう支援する。             | 3歳児でむし歯のない児の割合：83%<br>3歳児でおやつ回数が1日2回以下の児の割合：91%                      | 3歳児でむし歯のない児の割合：83.4%<br>3歳児でおやつ回数が1日2回以下の児の割合：91.6%                  | 子ども育成課            |
|   | ④    | 保育所（園）幼稚園・学校等における歯科口腔保健の推進の支援                       | 保育所（園）・幼稚園・学校、関係機関と協働し、学校保健委員会、児童・生徒や保護者・養護教諭、学校歯科医等に情報提供や啓発、健康教育等に取り組み、歯科口腔保健が推進されるよう支援する。 | 216回 3,636人  | 127回 2,652人  | 健康医療推進課           |
| 学校等との連携   | ⑤    | 歯科保健関係事業  | 学校及び学校関係者が協力して歯と口の健康教育について取り組む。   | 市立学校園に「歯の図画・ポスター」を募集し、作品を審査し表彰する。表彰された作品は、本館エントランスホールにて展示。応募総数2,269枚 | 市立学校園に「歯の図画・ポスター」を募集し、作品を審査し表彰する。表彰された作品は、本館エントランスホールにて展示。応募総数1,604枚 | 保健給食課<br>保健センター   |
|   | ⑥    | 学校保健委員会や学校連絡会（養護教諭等との連絡会）との連携                       | 養護教諭等との連絡会ではテーマ別連携を図る。  | 学校連絡会、学校保健委員会等への参加（102回）   | 学校連絡会、学校保健委員会等への参加（62回）  | 保健センター            |
| 健全な口腔機能の発育について周知  | ⑦    | 健全な口腔を育むための情報提供、コンテスト等の開催で良好な者を奨励することで、市民への啓発につなげる。 | 関係部局、団体と協議し健全な口腔を育むため、健康教育の場の設置や、市民に対し情報を提供する。  | パパの育児教室 6回 1,022人 全大阪よい歯のコンクール保健センター審査8回33組の親子が参加                    | パパの育児教室 5回 903人 全大阪よい歯のコンクール保健センター審査8回34組の親子が参加                      | 子ども育成課            |
|   | ⑧    | 健全な口腔機能を育むための普及啓発                                   | よく噛んで安全に飲み込むなどの食べ方を育むため後期離乳食講習会、子育てサークルなどで健康教育を行う。  | 健康教育93回 1,530人   | 健康教育110回 1,827人  | 健康医療推進課           |
|   | ⑨    | 健全な口腔機能を育むための普及啓発                                   | 健康診断 保健指導   | 各学校園は、毎年、定期健康診断を実施している。その結果、全体の指導、個別指導を実施する。                         | 各学校園は、毎年、定期健康診断を実施している。その結果、全体の指導、個別指導を実施する。                         | 保健給食課             |
| むし歯や歯周病の重症化予防について、職域保健・医療・産業などの機関が連携した取り組み                | ⑩    | 重症化予防のため定期的な歯科検診の必要性について関係機関と連携して啓発を行う。             | 歯科医師会と協働し市民を対象とした歯科保健イベントの開催する。   | 歯の健康相談・健康展開催2回 2,214人  | 歯の健康相談・健康展開催2回 2,052人  | 健康医療推進課           |
|   | ⑪    | かかりつけ歯科医によるフッ化物の継続塗布勧奨の啓発                           | かかりつけ歯科医によるフッ化物の継続塗布を勧奨する。  | フッ素塗布経験者率（3歳児）92%  | フッ素塗布経験者率（3歳児）93%  | 子ども育成課            |
|   | ⑫    | イベント等での歯科口腔保健啓発                                     | 地域住民組織や関係機関と協働し、地域でのイベントの企画・運営等へ主体的に関わり、市民参加型の歯科口腔保健に関する啓発活動を行う。                            | 10回 3,213人   | 18回 5,299人   | 健康医療推進課<br>保健センター |
| 全身の健康と歯と口の健康との関係についての周知                                   | ⑬    | 定期的な歯科検診の必要性についての啓発                                 | かかりつけ歯科医による定期的な歯科検診の受診勧奨を健診やイベント等の機会を活用し行う。   | 過去1年以内に歯科検診を受けた者の割合 51%  | 過去1年以内に歯科検診を受けた者の割合 49%  | 健康医療推進課           |
|   | ⑭    | 市民を対象にパネル展示やリーフレット配布等で広く啓発をおこなう。                    | 市役所、保健センター、図書館等で市民向けの啓発リーフレットを配架する。   | 啓発リーフレットの配架実施 パネル展示  | 啓発リーフレットの配架実施 パネル展示  | 健康医療推進課           |
| 加齢による口腔機能の低下を予防するための知識について、職域保健・地域・医療・介護・産業などの機関が連携した取り組み | ⑮    | 全身と歯と口の健康との関係についての健康教育                              | 歯周病予防について教室、特定保健指導、地域での健康講座等の機会を活用し、健康教育を実施する。  | 健康教育122回 1,646人  | 健康教育115回 1,876人  | 健康医療推進課<br>保健センター |
|   | ⑯    | お口の体操の啓発や、歯科保健講演会の開催、コンテストなどイベントを通じて関係機関との連携を推進する。  | お口の体操リーフレットの配架、歯科医師会と協働し80歳で20本以上の歯の保有者対象のコンテスト等を開催する。                                      | いい歯自慢コンテスト応募者数 71人・歯科保健講演会人数 95人                                     | いい歯自慢コンテスト応募者数74人・歯科保健講演会人数 103人                                     | 地域包括ケア推進課         |
| 肺炎予防につながる口腔ケアについて、効果的な方法の周知                               | ⑰    | お口の体操の普及啓発  | 加齢に伴う口腔の機能低下を予防するための知識を普及啓発を講座やイベント等で実施する。（8020健口講座、口腔機能向上教室、地域での健康教育等）                     | 172回 2,183人  | 148回 3,002人  | 地域包括ケア推進課         |
|   | ⑱    | 高齢者が取り巻く関係者が、口腔ケアの必要性を認識し口腔ケアについて学ぶ機会を提供する。         | 高齢者を取り巻く関係者が、口腔ケアの必要性を認識し口腔ケアについて学ぶ機会を提供する。   | 開催回数 2回 40人  | 開催回数 6回 170人   | 健康医療推進課           |

戦略Ⅰ－vii 健康チェック 【目標/重点課題：自ら健康管理ができる】

| 施策の方向性   | 事業No | 事業名                | 実施内容  | 平成29年度実績  | 平成30年度実績  | 担当課               |
|--|------|--------------------|---|---|---|-------------------|
| 学童・生徒が、自分の体に関心をもち、規則正しい生活を送ることの必要性を理解し、自分を大切にできるような啓発                                | ①    | 学校保健総合支援事業（再掲）     | 学校と連携し、学校保健総合支援事業（いのちの教育）を実施、自分を大切にすることを伝える   | 小中支援学校51校で実施  | 小中支援学校52校で実施  | 保健給食課<br>子ども育成課   |
| かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局を持つことの必要性の啓発  | ②    | 乳児家庭全戸訪問、新生児訪問指導   | 生後4か月頃までに、保健師、助産師、保育士等が、乳児家庭を全戸訪問し、かかりつけ医啓発パンフレットを全員に配布する。  | 家庭訪問数（面接あり） 5,945件  | 家庭訪問数（面接あり） 6,022件  | 子ども育成課            |
| 職場の健康診断・特定健康診断など各種健（検）診を受け、結果を理解するための啓発  | ③    | 健康手帳・健康づくり継続ノートの配布 | 健康管理のツールとして周知し、利用を促進する。   | 健康手帳交付数 9,105冊  | 健康手帳交付数 12,633冊   | 健康医療推進課<br>保健センター |
|  | ④    | 健康に関する情報の発信        | 保健センター、図書館の掲示コーナーを利用し、保健センター事業や検診受診の必要性などの情報提供を行う   | 8保健センターで実施  | 8保健センターで実施  | 健康医療推進課           |
| 自分の健康管理の方法を獲得できるような啓発  | ⑤    | 妊婦健康診査             | 市が定めた妊婦健康診査の検査項目について、14回分の受診票を挟み込んだ母子健康手帳別冊を、保健師が受診勧奨を行いながら、妊婦届出者全員に交付する。   | 妊婦届出数：6,702人  | 妊婦届出数：6,407人  | 子ども育成課            |
|  | ⑥    | （新）産婦健康診査          | 産後2週間前後と産後1か月前後の2回分の受診票を挟み込んだ母子健康手帳別冊を、保健師が受診勧奨を行いながら、妊婦届出者全員に交付する。   |   | 妊婦届出数：6,407人  | 子ども育成課            |
|  | ⑦    | 乳幼児健康診査            | ①集団健康診査として、4か月児、1歳6か月児、3歳児健康診査を実施し、子どもの発育・発達や育児状況の確認を行い、必要な方は適切な支援につなげる。<br>②個別健康診査として、医療機関で乳児一般健康診査（前期・後期）を実施する。 | ① 4か月児健康診査受診者数：6,361人<br>1歳6か月児健康診査受診者数：6,697人<br>3歳児健康診査受診者数：6,557人<br>② 乳児一般健康診査（前期）受診者数：5,543人<br>"（後期）受診者数：6,176人 | ① 4か月児健康診査受診者数：6,217人<br>1歳6か月児健康診査受診者数：6,420人<br>3歳児健康診査受診者数：6,727人<br>② 乳児一般健康診査（前期）受診者数：5,473人<br>"（後期）受診者数：5,769人 | 子ども育成課            |
|  | ⑧    | 母子保健健康教育           | 親になる準備や育児とこころの育ち、生活習慣、疾病事故防止など、様々な事項について健康教育を開催する。  | 1,403回 27,782人  | 1,369回 25,744人  | 子ども育成課            |
|  | ⑨    | 部活動推進事業            | 学校園における体力づくり事業（戦略Ⅰ－2）に加え、部活動の充実に向けた事業を実施。   | 外部指導者の派遣、用具の整備や全国・地方大会への参加支援に加え、拠点校を設置し、在籍校に希望する部活動がない生徒に拠点校の部活動への入部を可能とするなどしている。                                     | 外部指導者の派遣、用具の整備や全国・地方大会への参加支援に加え、拠点校を設置し、在籍校に希望する部活動がない生徒に拠点校の部活動への入部を可能とするなどしている。                                     | 生徒指導課             |
| 健康に関する自己チェックや定期的に健診受診行動がとれるよう様々な媒体の使用。また、健康教育・相談（所内・所外）の機会を通じ、個々のニーズに応じた健康チェックを実施する。 | ⑩    | 健康管理に関する啓発活動       | 健康に関する自己チェックや定期的に健診受診行動がとれるよう様々な媒体の使用。また、健康教育・相談（所内・所外）の機会を通じ、個々のニーズに応じた健康チェックを実施する。                              | 8保健センターで実施。<br>173回 2,468人  | 8保健センターで実施。<br>182回 3,309人  | 健康医療推進課<br>保健センター |
|  | ⑪    | 特定高齢者勧奨事業 非該当者訪問事業 | 特定高齢者把握基本チェックリストを活用する特定高齢者勧奨事業において、非該当となったものに対して、保健センターの保健師や看護師が電話や訪問を行い、介護予防に関する情報提供等を行う。                        | 実598人 延753人   | 実677人 延865人   | 地域包括ケア推進課         |
|  | ⑫    | 保健事業案内配布           | 検診受診の医療機関や保健センター事業案内を市内全世帯に配布するもの。  | 全世帯に配布。（404,883部）   | 全世帯に配布。（405,449部）   | 健康医療推進課           |

**戦略Ⅱ 健康を支える地域社会づくり**

戦略Ⅱ-i 市民による地域づくり 【目標/重点課題：市民の主体的な健康づくりを支える地域づくりを推進するために、適切な健康情報を得られる環境や学習機会を継続的に整えることで、市民組織活動を支援し、市民主体の健康づくりを推進する。】

| 施策の方向性  | 事業No | 事業名                                   | 実施内容   | 平成29年度実績   | 平成30年度実績   | 担当課               |
|---|------|---------------------------------------|--|--|--|-------------------|
| 市民自らが継続して健康づくりを実践できるよう自主活動グループ等の育成・活動支援した取り組み | ①    | 健康づくり推進員活動支援                          | 保健センターとともに、広く市民に、健康づくりに資する自主的な活動を展開するとともに、イベントなどの際、保健センターと協力し、啓発活動を実施する。 | 各区6~12回の会議開催、イベント等開催56回2,384人  | 各区2~11回の会議開催、イベント等開催57回3,212人  | 健康医療推進課<br>保健センター |
|   | ②    | 健康づくり自主活動グループ等の育成と活動支援                | 保健師による活動支援、体力測定、出前講座、みんなのチューブの実施などを実施。                                   | 8保健センターで実施。 168回 3,020人  | 8保健センターで実施。 202回 3,058人  | 健康医療推進課<br>保健センター |
|   | ③    | 健康づくりのリーダー養成                          | リーダー研修会、リーダー交流会、救急講習会の開催など   | 交流会等の開催  | 交流会の開催   | 健康医療推進課<br>保健センター |
|   | ④    | 食生活改善推進員の育成と活動支援                      | 地域における健康づくりや食育に関するボランティア活動の支援を行う。また活動の活性化を図るために研修会を開催する。                 | 研修会 16回 地域活動 345回  | 研修会 16回 地域活動 321回  | 健康医療推進課           |
|   | ⑤    | 8020普及推進員の育成と活動支援                     | 市民自らが継続して、歯と口の健康づくりを実践できるよう自主活動グループ(8020普及推進員)の育成と地域への活動支援を行う。           | 定例会101回 1,299人   | 定例会95回 1,175人  | 健康医療推進課<br>保健センター |
|   | ⑥    | 在宅保健専門職グループとの連携                       | 地域で市民主体の健康づくりを推進することを目的に在宅の栄養士・歯科衛生士を組織化、育成し、地域活動を支援する。                  | 研修会 2回 地域活動 19回  | 研修会 2回 地域活動 20回  | 健康医療推進課           |
|   | ⑦    | 既存の組織などと協働した健康づくり活動                   | 地域の既存の組織である自治会や自主活動グループなどと協働し、健康づくり活動についての啓発・活動継続の支援を行う。                 | 8保健センターで実施   | 8保健センターで実施   | 健康医療推進課           |
|   | ⑧    | こころの健康を支援する体制づくり<br>【事業名：ゲートキーパー養成研修】 | 悩みを抱えた人に対して、「いち早く気づき、声をかけ、話を聴いて、適切な支援につなぐ」仕組みを地域に作る。                     | 【基礎編】3回実施 参加者 計 199人<br>【ステップアップ編】1回実施 参加者 72人   | 【基礎編】7回実施 参加者 計283人<br>【ステップアップ編】2回実施 参加者 計112人  | 精神保健課             |
|   | ⑨    | 自助組織活動の支援                             | がん患者会などの自助組織の育成・支援を行う。   | 自助組織の育成・活動支援として啓発を協働して実施するほか、講演会(定例会)6回開催120人、患者サロン12回48人、ピアサポーター養成研修2回、ピアサポーター派遣29回61人、講演講師派遣3回 | 自助組織の育成・活動支援として啓発を協働して実施するほか、講演会(定例会)5回開催131人、患者サロン3回10人、ピアサポーター養成研修1回、ピアサポーター派遣14回33人 | 健康医療推進課<br>保健センター |
|   | ⑩    | スポーツ指導者の養成<br>【事業名：地域スポーツ指導者養成講座】     | 地域や職場においてスポーツ指導者として活躍してもらうことを目的に講座を実施。                                   | 全8講座を実施<br>申込者 21人<br>認定者 21人<br>認定条件 4講座以上受講  | 全8講座を実施<br>申込者 7人<br>認定者 7人<br>認定条件 4講座以上受講  | (公財)堺市教育スポーツ振興事業団 |

戦略Ⅱ-ii 事業所(企業)・団体による環境づくり 【目標/重点課題：事業所(企業)が、従業員や顧客の健康増進につながるような取り組みを行える環境をつくる。】

| 施策の方向性   | 事業No | 事業名                             | 実施内容  | 平成29年度実績   | 平成30年度実績  | 担当課               |
|--|------|---------------------------------|---|--|---|-------------------|
| 市民の健康を支える社会環境として、市内の事業所・団体等へ協力をもとめ、連携をはかりながら健康づくりを支援した取り組み | ①    | 健康づくりパートナー登録事業                  | 市内の事業所に対して「健康づくりパートナー」としての登録を呼びかけ、登録企業には、自社の健康づくりに関する取組を堺市のホームページ等で紹介し、登録事業所間や市民が閲覧できるようにして情報の共有する。           | 登録企業 162社(平成30年3月31日現在)  | 登録企業 169社(平成31年3月31日現在)   | 健康医療推進課           |
|  | ②    | 企業との協定                          | 全国健康保険協会大阪支部と堺市民の健康づくりの推進に受けた連携に関する協定を締結した  | 全国健康保険協会の特定健康診査実施会場で市のがん検診を同時実施【5日間実施 延べ1,502人受診(胃:107人 肺:415人 大腸:980人)】 | 全国健康保険協会の特定健康診査実施会場で市のがん検診を同時実施【5日間実施 延べ1,326人受診(胃:88人 肺:439人 大腸:799人)】 | 健康医療推進課           |
|  | ③    | 禁煙協力施設の増加 大阪府「全面禁煙宣言施設」         | 大阪府の取組ではあるが、官公庁などの公共施設をはじめ、民間施設も含めた禁煙化を一層進めていくため、「全面禁煙」に取り組んでいる施設などを募集し、府民に情報提供するもの。                          | 388施設(平成30年4月27日現在)  | 399施設(平成31年3月11日現在)   | 健康医療推進課           |
|  | ④    | 飲食関係の協力店舗の増加                    | 飲食店等に「堺市栄養成分表示指定事業」への協力を依頼し、市民に適切な栄養の情報を提供する。大阪府内の行政や飲食の団体等で構成する大阪ヘルシー外食推進協議会に参加し、「うちのお店も健康づくり応援団」登録店の増加を図る。  | 市内協力店 251店   | 市内協力店 257店  | 健康医療推進課           |
|  | ⑤    | 特定給食施設等への指導                     | 事業所等の特定給食施設の巡回指導を通じて、従業員の健康づくりに関する指導を行う。また、給食利用者等に食生活に関する健康教育を行う。   | 個別指導 30回 集団指導 7回   | 個別指導 26回 集団指導 7回  | 健康医療推進課           |
|  | ⑥    | 事業所(企業)における従業員の健康管理労働者の関係団体との連携 | 健康情報の発信、提供等の支援を行う。  | 健康情報の提供、健康教育を実施  | 健康情報の提供、健康教育を実施   | 健康医療推進課<br>保健センター |
| 市内の中小企業等で働く勤労者とその家族の健康づくりを支援する                             | ⑦    | 中小企業勤労者への福祉対策の充実                | (公財)堺市勤労者福祉サービスセンターが実施する会員への福利厚生事業、余暇活動事業、慶弔給付事業、会員及びその家族の健康増進を図る健康管理事業等に対し補助を行い、市内の中小企業等で働く勤労者の総合的な福祉の増進を図る。 | 会員数 15,780人 健康管理事業利用延べ人数 25,264人   | 会員数 16,204人 健康管理事業利用延べ人数 24,127人  | 雇用推進課             |

戦略Ⅱ-iii 保健医療関係団体との連携 【目標/重点課題：医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会など保健医療関係団体行政が、連携しながら、その専門性を活かした市民の健康づくりを推進する。】

| 施策の方向性  | 事業No | 事業名              | 実施内容   | 平成29年度実績     | 平成30年度実績           | 担当課       |
|---|------|------------------|--|--------------|--------------------|-----------|
| 地域の健康問題を解決するためのネットワークをつくるなど、保健医療関係団体と行政が連携しながら、その専門性を活かした健康づくりの取り組み | ①    | 健康づくり講演会         | 健康都市「堺」の実現にむけ、市民各層の参加による健康づくり運動の推進を図り、堺市健康づくり推進市民会議の主催による健康づくり講演会や健康の集いを実施する。        | 1回開催         | 1回開催               | 健康医療推進課   |
|   | ②    | 健康さかい2 1健康フェア    | 健康都市「堺」の実現にむけ、市民各層の参加による健康づくり運動の推進を図り、堺市健康づくり推進市民会議の主催による健康づくりイベントを実施する。             | 1回開催         | 1回開催               | 健康医療推進課   |
|   | ③    | くらしの健康講座         | 高血圧など種々の健康をテーマに、各区での講演を開催し、市民に啓発を行うもの。   | 各区1回開催       | 各区1回開催             | 健康医療推進課   |
|   | ④    | 多職種連携づくり(歯科口腔保健) | 市民のQOLの維持向上を目指し、保健、医療、社会福祉、労働衛生、教育その他の関連施設及びその関係者、介護者との連携を図りライフステージに応じた歯科口腔保健を推進します。 | 2回開催(中・東)    | 5回開催(中1・西2・南1・美原1) | 健康医療推進課   |
|   | ⑤    | 学校保健研究会          | 保健医療専門職が集まり、意見交換、情報交換を実施している。  | 美原区年1回開催     | 美原区年1回開催           | 保健センター    |
|   | ⑥    | 高齢者関係機関会議        | 各区の地域福祉課や地域包括支援センターが中心となって開催する会議で、保健医療福祉の専門職が集まり、意見交換・情報交換する                         | 各区月1回から年数回開催 | 各区月1回から年数回開催       | 地域包括ケア推進課 |
|   | ⑦    | 子育て支援ネットワーク会議    | 保健医療福祉教育の専門職が集まり、意見交換・情報交換する   | 各区年数回開催      | 各区年数回開催            | 保健センター    |
|   | ⑧    | 区高齢者支援ネットワーク会議   | 各区において地域ケア会議として位置付けられ、高齢施策関係の意見・情報交換をする。   | 各区年1回開催      | 各区年1回開催            | 地域包括ケア推進課 |
|   | ⑨    | 多職種事例検討会         | 多職種間で事例検討を通じた意見交換、交流を行うことで、各職種の役割等を理解しあい、連携を強化する。                                    | 各区年1回開催      | 各区年1回開催            | 地域包括ケア推進課 |

戦略Ⅱ-Ⅳ 健康につながる施策の推進 【目標/重点課題：関係機関がさまざまな部門やレベルで健康へ視点を置き、市民にとってより健康的でより満足できる環境をつくる。】

| 施策の方向性                         | 事業No | 事業名              | 実施内容   | 平成29年度実績  | 平成30年度実績   | 担当課               |
|--------------------------------|------|------------------|--|---|--|-------------------|
|                                | ①    | 路上喫煙等対策事業        | 平成21年10月に「堺市安全・安心・快適な市民協働のまちづくり条例」を施行し、市内の公共の場所で喫煙をしないよう努力する義務を課すとともに、堺東～市役所周辺～大小路筋～堺駅前を路上喫煙等禁止区域に指定し、巡視員による指導・啓発を行い、違反者から1,000円の過料を徴収している。広報紙・ホームページ・懸垂幕・パナー・バス広告等様々な媒体を活用した広報啓発に加え、主要駅頭や区民まつり等における啓発活動を通して、市民や来訪者等のマナーの向上と意識の高揚を図るよう取り組んでいる。 | ・路上喫煙を防止するため、広報紙、市ホームページ、路面標示、横断幕、パナー、バス広告等様々な広告媒体を活用した広報活動及び各区分区民まつりや主要駅前におけるキャンペーン等の啓発活動を継続的に実施した。<br>・禁止区域内における路上喫煙多発地点での定点監視など、工夫した監視活動を実施した。<br>・路上喫煙等マナー向上重点啓発区域内において、重点的な啓発及び清掃活動を伴う巡回、指導を実施した。<br>・堺市駅周辺に指定喫煙所を新たに設置した。<br>・新たに路上喫煙等マナー向上重点啓発区域「堺市駅周辺及び堺市駅前商店街周辺」を指定した。 | ・路上喫煙を防止するため、広報紙、市ホームページ、路面標示、横断幕、パナー、バス車内放送等様々な広告媒体を活用した広報活動及び各区分区民まつりや主要駅前におけるキャンペーン等の啓発活動を継続的に実施した。<br>・路上喫煙等マナー向上重点啓発区域内において、重点的な啓発及び清掃活動を伴う巡回、指導を実施した。<br>・堺市駅周辺に指定喫煙所を新たに設置した。<br>・新たに路上喫煙等マナー向上重点啓発区域「堺市駅周辺及び堺市駅前商店街周辺」を指定した。 | 環境業務課             |
|                                | ②    |                  | 共用の自転車を配置するサイクルポートを8カ所設置し、どこのポートでも貸出・返却が可能な交通システムである「さかいコミュニティサイクル事業」を運営。  | コミュニティサイクル利用契約台数（1日あたり）約789台  | コミュニティサイクル利用契約台数（1日あたり）約799台   |                   |
|                                | ③    | 日常的な自転車利用の拡大     | 自転車のまちづくりを担う人材の養成のため「さかい自転車リーダー養成講座」を開講し、受講いただいた「自転車利用推進委員」として認定。「自転車利用推進委員」は、主に事業所内で、自転車の安全利用や利用促進についての普及啓発活動等に取組む。   | ・「さかい自転車リーダー養成講座」を1回実施<br>・「自転車安全利用推進委員」認定数 15人   | ・「さかい自転車リーダー養成講座」を1回実施<br>・「自転車安全利用推進委員」認定数 9人   | 自転車企画推進課          |
| 市民の暮らしをとりまく環境整備について、庁内連携した取り組み | ④    | スポーツ環境の整備        | 市民ニーズや地域の状況、必要性を調査・検討し、効率的なスポーツ施設等の整備を行う。  | ②原池公園野球場建設工事着手<br>③大浜体育館建替整備運営事業 事業者決定<br>④家原大池体育館吊り天井改修完了、金岡公園体育館吊り天井改修完了、原池公園体育館吊り天井改修工事着手  | ②原池公園野球場建設工事（継続中）<br>③大浜体育館建替整備運営事業 新体育館建設工事着手<br>④原池公園体育館吊り天井改修工事完了、美原総合スポーツセンター特定天井改修工事着手  | スポーツ施設課           |
|                                | ⑤    | 地産地消の推進・堺産農産物の普及 | 堺産農産物「堺のめぐみ」の普及のため、「堺のめぐみ」を学校給食の食材として導入を進めている。また、農産物直売所「またきて菜」や市内量販店で販売する外、市内の飲食店等で「堺のめぐみ」を使用したメニューを販売している。  | 学校給食食材・タマネギ25トン、大根11トン、ニンジン4トン、キャベツ11トン、小松菜17トン、おおさかしらな0.09トン、ネギ0.05トン<br>「堺のめぐみ」取扱販売店48店、「堺のめぐみ」取扱飲食店 50店  | 学校給食食材・タマネギ18トン、大根7トン、ニンジン4トン、キャベツ8トン、小松菜14トン、カボチャ0.1トン、ネギ0.2トン<br>「堺のめぐみ」取扱販売店49店、「堺のめぐみ」取扱飲食店 47店  | 農水産課              |
|                                | ⑥    |                  | 食育啓発の一環として、調理講習会で堺産農産物を使用し、地産地消を普及・推進する。   | 19回 288人  | 26回 466人   | 健康医療推進課<br>保健センター |
|                                | ⑦    | おでかけ応援制度         | 公共交通の利用促進及び高齢者の外出支援を図ることを目的としており、満65歳以上の堺市民が、「おでかけ応援カード」を使用することで、市内を走る路線バス（南海バス・近鉄バス）・阪堺電車を1乗車100円で利用できます。   | 年間延べ利用者数<br>5,922,019人  | 年間延べ利用者数<br>6,080,662人   | 公共交通課<br>交通政策課    |
|                                | ⑧    | 生涯学習まちづくり出前講座    | 市が行う事業や制度について、市の職員が地域に出向いて、「堺市生涯 学習まちづくり出前講座」を開催実施し、まちづくりを推進します。健康に関するテーマとしては、生活習慣病予防、食育、感染症予防、食中毒、こころの健康などを取り上げています。  | 335件 12,469人参加。<br>（まちづくり10件、政策4件、防災・安全118件、環境48件、くらし35件、観光・産業4件、健康・福祉88件、子育て・教育・学習5件、文化・スポーツ10件、国際13件）   | 305件 10,492人参加<br>（件数内訳：まちづくり7件、政策5件、防災・安全142件、環境33件、くらし24件、観光・産業4件、健康・福祉60件、子育て・教育・学習11件、文化・スポーツ13件、国際6件）   | 生涯学習課             |
|                                | ⑨    | 公園における受動喫煙の啓発    | 小規模公園について、受動喫煙の啓発看板を設置   | 受動喫煙防止に係る看板の設置計画を策定。  | 300m2以上の256公園のフェンスに看板設置  | 公園監理課             |

戦略Ⅱ-Ⅴ 健康格差の縮小に向けた対策 【目標/重点課題：健康情報の届きにくい者に対しては、状況に応じて健康情報を届けるように取り組む。】

| 施策の方向性                | 事業No | 事業名               | 実施内容   | 平成29年度実績  | 平成30年度実績  | 担当課               |
|-----------------------|------|-------------------|--|---|---|-------------------|
|                       | ①    | 妊娠届出時の全数面接        | 妊娠届出された方全員に保健師等が面接を行い、必要に応じた保健指導や情報提供を行う。  | 妊娠届出数：6,702人  | 妊娠届出数：6,407人  | 子ども育成課            |
| 健康への関心が低い層への働きかけた取り組み | ②    | 乳幼児健康診査           | 乳幼児健康診査（4か月児、1歳6か月児、3歳児）対象児全員に個別通知を行い、受診率の向上を図るとともに、健診未受診児については、保健師が家庭訪問などで発育・発達・育児状況などを把握し、適切な保健指導や情報提供を行う。 | 乳幼児健康診査受診者数及び受診率<br>4か月児：6,361人（98.2%）<br>1歳6か月児：6,697人（98.1%）<br>3歳児：6,557人（95.8%） | 乳幼児健康診査受診者数及び受診率<br>4か月児：6,217人（97.4%）<br>1歳6か月児：6,420人（97.3%）<br>3歳児：6,727人（97.5%） | 子ども育成課            |
|                       | ③    | 乳がん検診土曜日開催        | 土曜日に開催し、平日に受診できない人への機会をもつ  | 2保健センターで実施  | 2保健センターで実施  | 健康医療推進課<br>保健センター |
|                       | ④    | さかい健康づくりポイントラリー事業 | がん検診や特定健診などの受診、保健センターなどで実施している健康関連教室への参加や自主的に健康づくり活動に取り組んでいる市民への健康応援事業として実施する。                               |   |   | 健康医療推進課           |
| 障害者などへ向けた健康づくりの推進     | ⑤    | 障害者等への健康づくりの推進    | 情報弱者へ向けた健（検）診情報ツールの作成と普及   | 7回 61人  | 2回 40人  | 健康医療推進課<br>保健センター |
| 事業所（企業）へ働きかけをした取り組み   | ⑥    | 企業・事業所への働きかけ      | 歯科口腔保健について情報提供を行うとともに、歯や口の健康づくりパートナーとして地域の啓発を協働で実施。  | 企業等で職域集団を対象に集団指導、個別相談を実施 3回 175人  | 企業等で職域集団を対象に集団指導、個別相談を実施 4回 177人  | 健康医療推進課<br>保健センター |
| 性差を考慮した生涯にわたる健康づくり    | ⑦    | 性差に考慮した啓発・健康教育の実施 | 様々なテーマで実施している啓発・健康教育の際には、女性特有のがん検診をはじめ、性差を考慮して実施する。  | 健康教育の実施数に含む。  | 健康教育の実施数に含む。  | 健康医療推進課<br>保健センター |

戦略Ⅲ 生活習慣病の早期発見・重症化予防

戦略Ⅲ-i がんの発症予防と早期発見 【目標/重点課題：がんになり患しやすくなる要因を排除するための正しい知識を周知する。がんの早期発見に資するためがん検診を計画的に実施する。】

| 施策の方向性   | 事業No | 事業名                   | 実施内容   | 平成29年度実績                            | 平成30年度実績                            | 担当課               |
|--|------|-----------------------|--|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------|
| 子どもの頃から、がんに対して正しい知識の普及・啓発への取り組み。<br>がん予防と関連の深い食生活・運動・飲酒等の知識普及・啓発の取り組み。<br>喫煙、受動喫煙防止への取り組み。 | ①    | 健康相談（胃がん検診）           | 胃がん検診時にがん予防・早期発見のための健康相談を実施。   | 51回 568人                            | 27回 358人                            | 健康医療推進課<br>保健センター |
|  | ②    | 健康相談（肺がん検診時）          | 40歳以上の市民に対して結核の早期発見と肺がん検診を同時実施   | 101回 1,708人                         | 112回 2,010人                         | 健康医療推進課<br>保健センター |
|  | ③    | 乳がん自己触診の啓発（健康教育）      | がん患者団体などと連携し、ママの会・赤ちゃん広場など、女性が集まる場において、乳がん予防・早期発見・自己触診などについて啓発。                                | 8保健センターで実施                          | 8保健センターで実施                          | 健康医療推進課<br>保健センター |
|  | ④    | 乳がんについての情報提供          | 自己触診の啓発やチラシなどの啓発媒体の配布、ポスター掲示などにより、啓発を行う。   | 8保健センターで実施                          | 8保健センターで実施                          | 健康医療推進課           |
|  | ⑤    | 子ども青少年期におけるがん教育       | 小中学校における健康教育の一環として、児童生徒ががんについての正しい知識を知り、正しい生活習慣を身につけ、がんを予防することなどの「がんに関する教育」を推進。                | 小学校6年時、中学校3年時でのがんに関する教育の実施を推進。      | 小学校6年時、中学校3年時でのがんに関する教育の実施を推進。      | 生徒指導課             |
|  | ⑥    | がんに関する健康教育の実施         | がんになり患しやすくなる要因を排除するための正しい知識を周知する。  | 健康教育 251回 8529人                     | 健康教育 250回 8151人                     | 健康医療推進課<br>保健センター |
|  | ⑦    | 子ども青少年期におけるがん教育       | がん患者会と連携し、学校保健委員会や学校交流会などにおいて、がんの健康教育を実施。  | 小学校3校、中学校1校、高等学校1回                  | 小学校2校                               | 健康医療推進課<br>保健センター |
|  | ⑧    | 口腔がん等予防のため口腔ケアや口腔機能向上 | 口腔がん等予防にもつながる口腔ケアの重要性の啓発   | HCIにて成人の歯科相談および健康教育にて啓発 259回        | HCIにて成人の歯科相談および健康教育にて啓発 263回        | 健康医療推進課<br>保健センター |
|  | ⑨    | 啓発イベント                | 健康フェスタなど各種のイベントで、健康づくり推進員などの市民の協力を得ながら、チラシやリーフレットなどの媒体を配布する。                                   | 8保健センターで実施。自主活動グループ等市民と協働した活動も実施した。 | 8保健センターで実施。自主活動グループ等市民と協働した活動も実施した。 | 健康医療推進課           |
|  | ⑩    | たばこ対策、受動喫煙防止対策        | （戦略Ⅰ-iii）  | （たばこ対策に記載）                          | （たばこ対策に記載）                          | 健康医療推進課<br>保健センター |
| 定期的な健康管理とがん検診受診勧奨への取り組み。   | ⑪    | がん検診の実施               | 胃がん検診  | 5.4%                                | 6.3%                                | 健康医療推進課           |
|  | ⑫    |                       | 肺がん検診  | 6.8%                                | 9.2%                                | 健康医療推進課           |
|  | ⑬    |                       | 大腸がん検診   | 13.0%                               | 14.1%                               | 健康医療推進課           |
|  | ⑭    |                       | 子宮がん検診   | 23.6%                               | 24.2%                               | 健康医療推進課           |
|  | ⑮    |                       | 乳がん検診  | 18.6%                               | 18.9%                               | 健康医療推進課           |
|  | ⑯    | 肝炎ウイルス検査              | B・C型肝炎ウイルス検査（20歳以上の市民）   | 8保健センターで実施                          | 8保健センターで実施                          | 健康医療推進課<br>保健センター |
|  | ⑰    | 積極的な受診勧奨              | 精密検査未受診者に対して、受診の必要性を説明し、受診勧奨を実施。   | 8保健センターで実施                          | 8保健センターで実施                          | 健康医療推進課           |
|  | ⑱    | 子宮頸がん検診               | 堺市妊婦健康診査（Ⅰ）受診票において、子宮頸がん検診（細胞診）の実施。  | 堺市妊婦健康診査（Ⅰ）受診者 6,472人               | 堺市妊婦健康診査（Ⅰ）受診者 6,188人               | 子ども育成課            |
|  | ⑲    | がん検診を受診しやすい環境づくり      | 総合がん検診（平成28年度で廃止し、各種がん検診の実施体制を拡充）  | 事業終了                                | 事業終了                                | 健康医療推進課           |
| がんに罹患後も、不安を軽減し、地域で生活することを支援する取り組み。   | ⑳    | 堺市がん患者サポート事業          | 患者、行政、医療機関の三者が連携を強め、がん患者やその家族のために、交流・情報交換の場の提供、講演会等によるがんの予防や治療に関する情報、相談窓口の設置など、市民の視点に立った支援を行う。 | 運営支援を継続実施                           | 運営支援を継続実施                           | 健康医療推進課           |

戦略Ⅲ-ii 脳血管疾患・心疾患の発症予防 【目標/重点課題：脳血管疾患・心疾患の予防のために、健全な生活習慣を身につけることの必要性を市民に広く周知し、理解できるように取り組む。】

| 施策の方向性   | 事業No | 事業名               | 実施内容   | 平成29年度実績                                 | 平成30年度実績                                  | 担当課               |
|--|------|-------------------|--|--|---|-------------------|
| 正しい知識の普及啓発のための健康相談・健康教育の実施<br>事業所や医療保険者と連携した取り組み | ①    | 健康教育・健康相談         | 循環器疾患の予防のための健康教育・健康相談を実施。  | 健康教育：15回 264人                            | 健康教育：8回 95人                               | 健康医療推進課<br>保健センター |
|  | ②    | 事業所（企業）との連携       | 事業所と連携して従業員を対象に減塩、運動、等に関する健康教育やパネル展示などの啓発を行う。  | 3回 42人、媒体の貸し出し1社                         | 3回 140人、媒体の貸し出し1社                         | 健康医療推進課<br>保健センター |
|  | ③    | 生活習慣病予防相談         | 医師、栄養士、保健師が、相談と体組成計測定により保健指導を実施する。   | 各保健センターで毎月1回開催                           | 各保健センターで毎月1回開催                            | 健康医療推進課           |
|  | ④    | たばこ対策、受動喫煙防止対策    | （戦略Ⅰ-iii）  | （たばこ対策に記載）                               | （たばこ対策に記載）                                | 健康医療推進課<br>保健センター |
| 高血圧・糖尿病・肥満といった疾患予防を意識した取り組み                      | ⑤    |                   | 保健センターにおいて、循環器疾患予防（高血圧予防）の一環として市民が減塩に取り組み、食塩摂取量を減らすために家庭の汁物塩分測定を取り入れた事業として減らしおキャンペーンを実施する。 | 8保健センター 参加者122人<br>減塩に取り組んだ社員食堂、飲食店等 12件 | 8保健センター 参加者198人<br>減塩に取り組んだ社員食堂、飲食店等 13件  | 健康医療推進課           |
|  | ⑥    | 高血圧対策             | 家庭の汁物塩分測定を実施し、食塩摂取量についての啓発を行う。   | 8保健センター 133回 2,740人                      | 8保健センター 142回 3,090人                       | 健康医療推進課           |
|  | ⑦    |                   | 保健センターや地域において、循環器疾患予防（高血圧予防）として減塩に関する健康教育を行う。  | 8保健センター 55回 2,179人                       | 8保健センター 51回 2,106人                        | 健康医療推進課           |
|  | ⑧    | 糖尿病対策             | 特定健康診査において必要な人に健康教育・健康相談を実施する。   | 特定保健指導対象者901人のうち、指導を希望する29人に実施。          | 特定保健指導対象者920人のうち、指導を希望する47人に実施。【速報値】      | 健康医療推進課           |
| 特定健康診査・特定保健指導の受診率の向上のための取り組み                     | ⑨    | 肥満予防に関する啓発        | 特定健康診査において必要な人に健康教育・健康相談を実施する。   | 特定保健指導対象者901人のうち、指導を希望する29人に実施。          | 特定保健指導対象者920人のうち、指導を希望する47人に実施。【速報値】      | 健康医療推進課           |
|  | ⑩    | 特定健康診査（堺市国民健康保険）  | 特定健康診査   | 27.0%                                    | 27.2%                                     | 健康医療推進課<br>保健センター |
|  | ⑪    |                   | 疾患の発症予防の啓発。  | 8保健センターがあらゆる機会を活用しチラシの配布等を行った            | 8保健センターがあらゆる機会を活用しチラシの配布等を行った             | 健康医療推進課           |
|  | ⑫    | 特定健康診査の受診勧奨       | リーフレットやポスター掲示によるエレベーター案内や情報コーナーで配布し、啓発すること。  | 8保健センターで実施。                              | 8保健センターで実施。                               | 健康医療推進課           |
| ハイリスク者への保健指導や受診勧奨の取り組み                           | ⑬    |                   | 健康づくり推進員をはじめ、市民と協働した受診勧奨の実施。   | 8保健センターで実施。                              | 8保健センターで実施。                               | 健康医療推進課           |
|  | ⑭    | 未受診者に対する受診勧奨      | 広報さかい、ホームページへの掲載、受診券の送付、未受診者へのはがき送付、コールセンターからの電話勧奨   | はがきの送付 37,082件                           | はがきの送付 46,687件                            | 健康医療推進課           |
|  | ⑮    | 特定保健指導の実施         | 特定健診受診者の内、メタボリックシンドローム該当者に対するの保健指導   | 特定保健指導積極的支援対象者901人のうち、指導を希望する61人に実施。     | 特定保健指導積極的支援対象者920人のうち、指導を希望する57人に実施。【速報値】 | 健康医療推進課           |
|  | ⑯    | 保健指導対象外のハイリスク者の支援 | 集団検診（人間ドック）受験者でハイリスク対象者へ受療行動促進のための戦略研究事業。（国保加入者対象）   |  |   | 健康医療推進課           |

戦略Ⅲ-iii COPD（慢性閉塞性肺疾患）の予防・早期発見 【目標/重点課題：COPDに関する正しい知識の普及啓発の実施。】

| 施策の方向性                                  | 事業No | 事業名                    | 実施内容  | 平成29年度実績                | 平成30年度実績                          | 担当課               |
|---|------|------------------------|---|-------------------------|-----------------------------------|-------------------|
| COPDの早期発見や予防・呼吸苦を増強しないための知識を高めるための取り組み。 | ①    | COPDに関するパネル展示          | 禁煙キャンペーンに合わせて、COPDについての正しい知識の啓発を目的としたパネル展示を行う。                    | 8保健センター及び健康医療推進課で実施。    | 8保健センター及び健康医療推進課で実施。              | 健康医療推進課<br>保健センター |
|   | ②    | 健康教育                   | 禁煙・防煙の健康教育教育時にCOPDについて啓発をあらゆる機会をとらえて、生徒・学生・妊産婦・地域住民などを対象に、実施する。   | 21回 796人                | 16回 709人                          | 健康医療推進課<br>保健センター |
|   | ③    | チェックリストや肺年齢測定などによる早期発見 | チェックリストや肺年齢測定などを通じて、COPDのハイリスク者をスクリーニングし早期発見・早期治療につなぐもの。          | 676名                    | 773名                              | 健康医療推進課<br>保健センター |
|   | ④    | COPD医療講演会              | COPDについての正しい知識の啓発を目的とした医療講演会の開催                                   | 0回                      | 1回                                | 健康医療推進課<br>保健センター |
|   | ⑤    | 禁煙啓発イベント               | 区役所や各種健診時、商業施設などで情報提供を行うもの。                                       | （たばこ対策に記載）              | （たばこ対策に記載）                        | 健康医療推進課           |
|   | ⑥    | 健康フェスタでの情報提供           | 健康フェスタで喫煙者に対し禁煙及びCOPDについての情報提供。                                   | スマイル館フェア・食育イベント2日間 487人 | スマイル館フェア・歯ッピー健康フェア・食育イベント3日間 272人 | 健康医療推進課           |
| 発症予防と進行防止のため、禁煙、受動喫煙防止への取り組み。           | ⑦    | 保健医療職員対象COPD講習会        | 堺市民におけるCOPDに重要な主体性のある包括的地域連携を進めるために必要な早期発見・早期治療をめざした医療を提供するための講習会 | 0回                      | 2回 15人                            | 健康医療推進課           |
|   | ⑧    | COPD個別相談               | イベントなどの場を活用した個別相談を実施する。   | 肺年齢測定を受けた人数 356人        | 肺年齢測定を受けた人数 773人                  | 健康医療推進課<br>保健センター |